

一般質問

議会報告会における諸課題について
能登ふぐ振興の支援を！

■木下議員 生産量日本一の石川県をPRして、地元消費の拡大とさらなる振興を図りたいと関係者は頑張っているが、従来あった県の支援が打ち切りになったということで、大変資金難に陥っているということ。輪島市では、市を挙げて能登ふぐを特産品として、輪島へ来られた方におもてなしの料理の一例としてふぐ料理を提供したいと、政策として市が取り上げている。七尾市としても地域資源の育成という観点から、今後の行政の支援のあり方について伺う。

■前田産業部長 能登ふぐの振興を行う「能登ふぐ事業共同組合」は、平成25年から平成28年まで国・県・市の補助で能登ふぐのブランド化を目指して取り組んでいる。その効果として、テレビや新聞などに掲載されることにより、全国的に能登ふぐを知ってもらうことができ、知名度アップに繋がり、ブランド化が図られている。さらに、市内でふぐ料理を食べることが出来る旅館や飲食店も増えており、効果が上がっているものと考えている。市としては、一定の効果があったと考えているが、今後も引き続き、国・県などの補助メニューを提案しながら、さまざまな活動に対して支援をしていきたいと考えている。

- 【その他の質問項目】
- ミサイル避難訓練
- 青柏祭の曳山行事を含む飛越能エリアの祭りの連携



木下 敬夫 議員 (礎)



能登ふぐ

一般質問

認知症カフェについて
認知症カフェの充実した発展に期待！

■山添議員 公立能登総合病院で県から委託を受けた認知症ネットワーク事業について、以前にも議会質問したが、認知症カフェを含む大きな事業だと承知している。その取り組みを市民にもっとPRすべき。事業の詳細な内容、将来的なビジョンについて伺う。

■吉村病院事業管理者 当院では、県からの補助を受けて6年間にわたり、認知症診療ネットワーク推進事業を行ってきた。その活動が一定の評価を受け、今年度、県内で3カ所目の認知症疾患医療センターの指定を受けた。ここでは、認知症の専門的診療だけでなく、介護や福祉の支援者として連携して、認知症に関する研修会の開催や市民が参加できる認知症への理解を深めるような活動を行っている。その活動の一つに、昨年からは認知症カフェを開き、認知症患者やその家族、支援者、地域住民の誰でも気軽に集まって、予防と介護について話し合える場というものを設けた。今後は、病院が一体となって、認知症患者やその家族を支援していけるよう発展していきたい。

■津田健康福祉部長 平成28年度に市内30会場で46回の認知症カフェを開催し、今後も継続した開催とグループホームなどの施設で入所者、家族のほか、地域住民も集える場になるよう働きかけていく。



山添 和良 議員 (市民クラブ)



公立能登総合病院

- 【その他の質問項目】
- 森林緩衝帯
- 奨学金
- 新教育委員会制度
- 土曜授業等を活用した防災教育
- 平和写真ハネル展

一般質問

全国消防団応援の店について
消防団を生かした観光誘客を！

■杉木議員 全国消防団応援の店とは、地域の店舗や事業所が登録し、消防団員やその家族を対象にさまざまなサービスを提供する地域の消防団サポート事業で、これまで地域ごとに取り組みが進められていたが、日本消防協会では昨年7月から全国各地の消防団員が利用できるように展開することになり、全国各地で協力要請がきている。全国で1025余りの事業所が登録しており、事業所にとっても地域の貢献をアピールできるメリットもある。七尾市ではまだ応援の店の取り組みがない。全国に86万人の消防団員がいる。その団員を和倉温泉など観光施設に誘客することが、観光施策の取り組みの一つになると考えるが、見解を伺う。

■不嶋市長 この事業は、県内で金沢市が先行しており、10月には野々市市が取り組みを始める。七尾市としても消防団確保が課題となるなか、地域ぐるみで支援体制を整え、地域の防災力の向上にも資すること、また、全国消防団員86万人を対象とすることで登録店への誘客、さらには交流人口の拡大にも繋がるため、和倉温泉の旅館や市内の観光施設などがこの登録制度に参加していただけるように、全国の取り組みみたいなのをしつかりと勉強して、働きかけをしていきたい。

- 【その他の質問項目】
- 健康増進施設アスロン
- 防犯灯や街灯の設置



杉木 勉 議員 (灘会)



消防団の活動の様子